

PHILIPS

HearLink

Behind-the-Ear
Hearing Aids

miniBTE T
miniBTE TR

Made for

 **iPhone** | iPad | iPod

Works with

android 



取り扱い説明書

製品について

本取り扱い説明書は、HearLink™ファミリー製品の以下の補聴器モデルとスタイルに対応しています：

- ☐ MNB T R
- ☐ MNB T

FW 1.3

- | | |
|--|--------------------------------|
| ☐ HearLink 9030 MNB T R | GTIN: 05714464052462 (HEB9034) |
| ☐ HearLink 7030 MNB T R | GTIN: 05714464052479 (HEB7034) |
| ☐ HearLink 5030 MNB T R | GTIN: 05714464052486 (HEB5034) |
| | |
| ☐ HearLink 9030 MNB T | GTIN: 05714464052462 (HEB9033) |
| ☐ HearLink 7030 MNB T | GTIN: 05714464052479 (HEB7033) |
| ☐ HearLink 5030 MNB T | GTIN: 05714464052486 (HEB5033) |

FW 1.3

- | | |
|--|--------------------------------|
| ☐ HearLink 3030 MNB T R | GTIN: 05714464052493 (HEB3034) |
| ☐ HearLink 2030 MNB T R | GTIN: 05714464052509 (HEB2034) |
| | |
| ☐ HearLink 3030 MNB T | GTIN: 05714464052493 (HEB3033) |
| ☐ HearLink 2030 MNB T | GTIN: 05714464052509 (HEB2033) |

取り扱い説明書について

この取扱説明書では補聴器の使用方法や取り扱い方法を説明しています。補聴器の機能を最大限に活用いただくためにも『注意事項』の項目を含めて、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

更なる詳細については以下を参照ください。
hearingsolutions.philips.com

聴覚ケア専門家がユーザーのニーズに合わせて補聴器を調整します。詳しくは聴覚ケア専門家にお問い合わせください。

聴覚ケア専門家（補聴器専門家、言語聴覚士、耳鼻咽喉科医、補聴器販売店スタッフ）は、必要な教育を受け、聴覚に関して専門的観点から評価でき、難聴者に対して補聴器を選択、フィッティングを提供でき、リハビリテーションを行える人物です。

*国によって職種が異なる場合があります。

使用に際して

使用用途	補聴器は音を増幅し耳に届けます。
使用上の注意	個々の周波数構成による、難聴の軽度（16 dB HL*）から高度（75 dB HL*）までの範囲の感音性、伝導性、または混合タイプの両側性または片側性聴覚障害
対象ユーザー	補聴器ユーザーとその介護者。補聴器のフィッティングを担当する聴覚ケア専門家
対象ユーザー年齢	成人及び36か月以上の子ども
使用環境	屋内並びに屋外
禁忌事項	36か月未満の乳幼児には適しません。体内埋め込み型インプラントをご使用の場合は、補聴器を使用する際、特別に注意が必要です。詳細は 注意事項 を参照ください。
臨床的ベネフィット	生活の質（QOL）を向上する目的で、より楽なコミュニケーションのために、より良い言葉の理解を提供する設計をしています。

*米国音声言語聴覚協会（asha.org）によって指定された、0.5、1、2 kHzの純音平均を使用。

重要なお知らせ

補聴器は、補聴器の専門家、また補聴器販売に関わる専門スタッフによってお客様の聴力及び個別の条件にあわせたフィッティングによって調整及び最適化を行う管理医療機器です。

目次

製品について

耳かけ型補聴器のスタイル及びイヤピースについて	10
耳かけ型(イヤモールド)	12
耳かけ型(コーダミニフィットチューブ)	13

ご使用前に

充電時間	14
電池のパフォーマンス	15
補聴器の左右表示	16
補聴器の電源のオン / オフ	18
電池残量低下の通知	21
電池の交換 (電池サイズ 312)	22

取り扱い

イヤモールド付き補聴器の装着のしかた	24
コーダミニフィットチューブ付き補聴器の装着のしかた	25
お手入れ	26
補聴器の毎日のお手入れ	27
コーダミニフィットチューブのお手入れ	28

[次ページへ続く](#)

目次

	オーダーメイドイヤピースのお手入れ	29
	標準的なイヤピースの交換	32
	プロワックスフィルター（耳垢防止フィルター）の交換	34
	プログラムの切り替え	35
	音量調節	36
	補聴器の保管	37
オプション		
	機内モード	38
	消音	39
	iPhone、iPad及びiPodに接続して使用するとき	40
	ペアリングと互換性	42
	外部機器とのワイヤレス接続	43
注意事項		
	注意事項	46

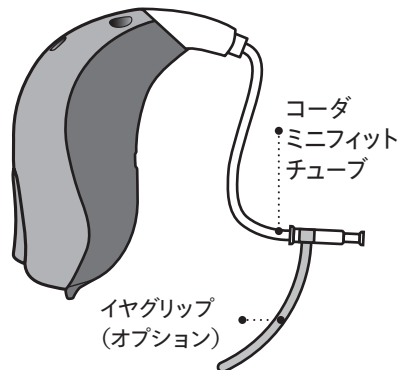
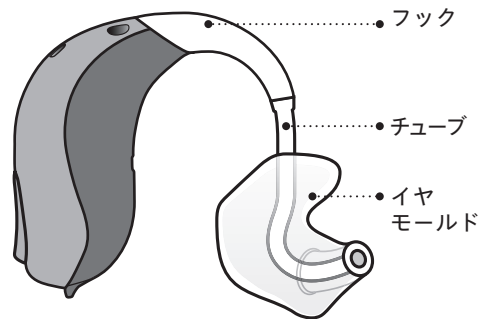
追加事項		
	トラブルシューティング / 故障と思われるときの対処法	52
	製品情報を見る	60
	防塵・防水対応について (IP68)	62
	動作環境について	63
	国際保証	68
	性能一覧表	70
	技術適合基準、安全基準および認可番号	78
	補聴器の設定	83
	通知音とLED表示	84

耳かけ型補聴器のスタイル及びイヤピースについて

耳かけ型補聴器には、フックとコーダと呼ばれる2種類のアタッチメントと、それぞれに対応するイヤピースの組み合わせがあります。

☐ 耳かけ型及びフックとモールド

☐ 耳かけ型 及び極細チューブ



極細チューブには以下のイヤピースのいずれかを使用します:

標準的なイヤピース



☐ オープンベースドーム



☐ ベースドーム、ダブルベント



☐ パワードーム



☐ グリップチップ

2つのサイズ(S/L)、左用、右用、
ベントの有無が選べます

オーダーメイドイヤピース

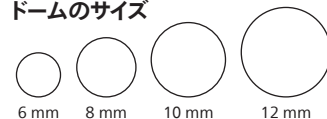


☐ ライトチップ



☐ マイクロモールド

ドームのサイズ

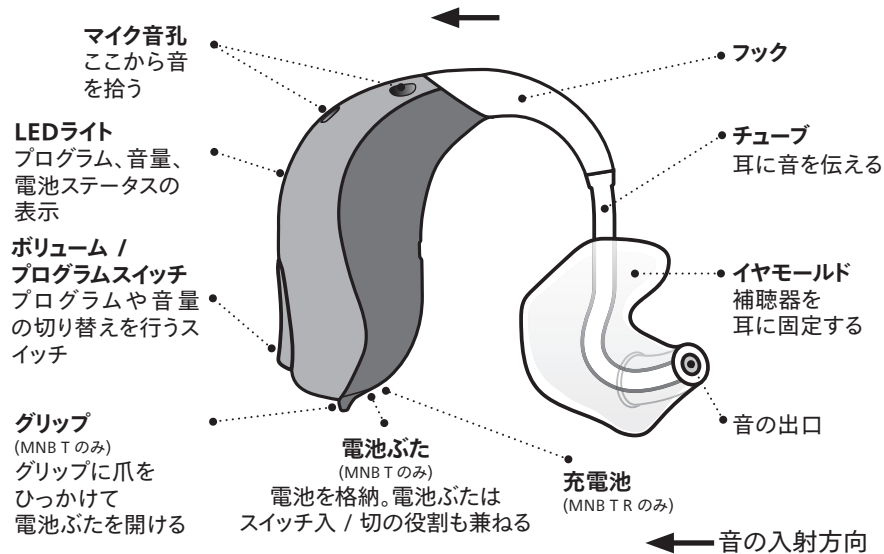


注意:

ドームの交換については「標準的なイヤピースの交換」をあわせて参照ください。

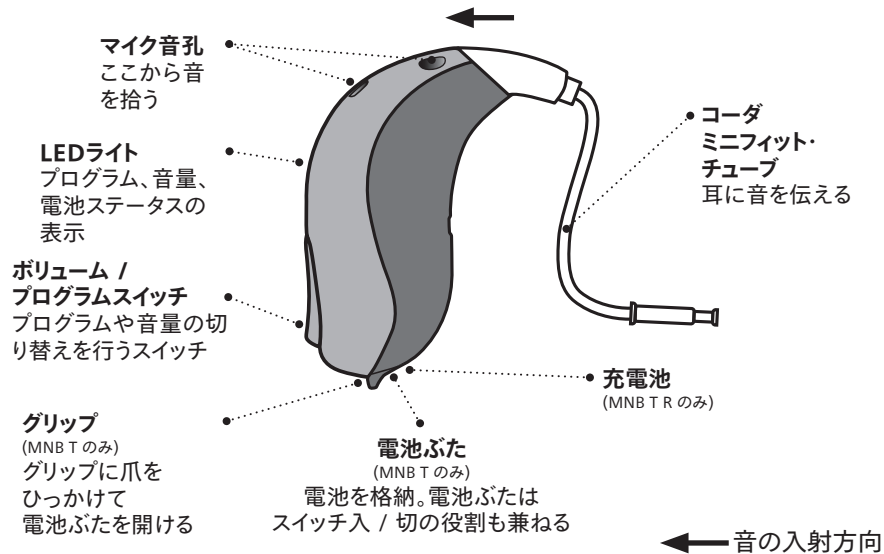
耳かけ型(イヤモールド)

各部名称と役割



耳かけ型(コーダミニフィットチューブ)

各部名称と役割



充電時間

(MNB T R のみ)

補聴器を毎晩充電してください。そうすることで、フル充電された状態で補聴器を使用できます。初めて充電式補聴器を使用する場合は、必ずフル充電してください。

完全放電の場合の標準充電時間は下記のとおりです:

3.5 時間	1 時間	0.5 時間
フル充電	40% 充電	20% 充電

フル充電になると、自動的に充電プロセスを終了します。

充電時間は充電電池の電池残量によって変化し、補聴器の左右でも差異が生じる可能性があります。

充電器の使用方法については、充電器の取り扱い説明書を参照ください。

電池のパフォーマンス

電池のパフォーマンスは、使用状況や補聴器の設定により左右されます。TVや携帯電話、オーディオクリップからの音声ストリーミングは電池パフォーマンスに影響を与えます。

充電電池 — MNB T R のみ

もし、電池が一日の使用分に足りなくなってきたら、電池交換の時期の可能性あります。お買い求めの販売店にご相談ください。

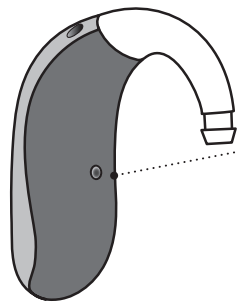
補聴器が電池切れになった場合は、再度充電するため補聴器を充電器にセットしてください。その状態で再起動しようとしても稼働しません。

補聴器の左右表示

補聴器は、左右の耳で設定が異なることもあり補聴器の左右をきちんと見分けることが大切です。

MNB T Rのみ

右耳用と左耳用を見分けるために補聴器本体の電池ふた上に左右表示がついています。また、マイクロモールド(オプション)でも右耳用と左耳用の見分けることができます。

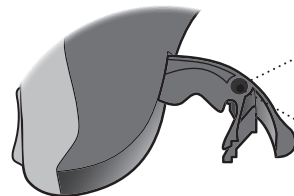


● 青の印は補聴器が
左耳用であることを示す

● 赤の印は補聴器が
右耳用であることを示す

MNB Tのみ

右耳用と左耳用を見分けるために補聴器本体の電池ふた上に左右表示がついています。また、マイクロモールド(オプション)でも右耳用と左耳用の見分けることができます。



● 青の印は補聴器が
左耳用であることを示す

● 赤の印は補聴器が
右耳用であることを示す

補聴器の電源のオン / オフ

充電器を使用 - MNB T R のみ

充電器から外すと、補聴器の電源が自動的にオンになります。

約2秒後に補聴器のLEDが**緑色**に点灯します。補聴器のLEDが**緑色**に2回点滅したら使用できます。

また、補聴器の設定によっては、起動時にメロディ音が聞こえる場合があります。

充電器にセットすると補聴器の電源が自動的にオフになり、充電を開始します。充電中は補聴器のLED表示は**オレンジ色**に点灯します。

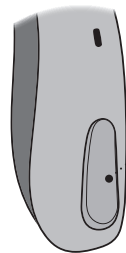
重要なお知らせ

補聴器を充電ポートにセットする際には充電器の電源がオンになっていることを確認してください。

詳細な情報については、充電器の取り扱い説明書を参照ください。

プッシュボタンを使用 - MNB T R のみ

プッシュボタンを操作して補聴器の電源オン / オフの切替ができます。



電源オン

下側のプッシュボタンを約2秒間押し続けてください。ボタンから指を離し、補聴器のLEDが**緑色**に点灯するまで少しお待ちください。

緑色に点灯すると補聴器が起動します。

電源オフ

下側のプッシュボタンを約3秒間押し続けてください。補聴器のLEDが**オレンジ色**に点灯し、4回通知音が聞こえます。ボタンから指を離してください。

通知音については、「**通知音とLED表示**」を参照ください。

電池ふたを使用 - MNB T のみ

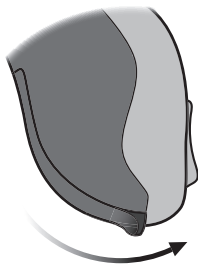
電池ふたは、補聴器のオン/オフとして機能します。電池を長持ちさせるために、補聴器を装用していないときは、電池ふたを開け電源を切ってください。あらかじめ設定された音量/プログラムに戻す際にも、電池ふたを一旦開け閉めの操作をしてください。(クイックリセット)

LED表示ライト

電源がオンになると、緑色に3回点滅します。

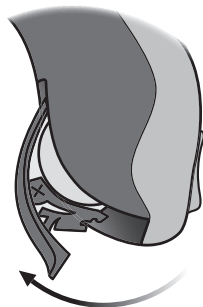
電源:オン

電池を入れてカチッと鳴るまで電池ふたをしっかりと閉めると電源が入ります。



電源:オフ

右図の通りに電池ふたを開けると、電源が切れます。



電池残量低下の通知

電池残量が完全に無くなる直前に4回ビープ音が鳴ります。ストリーミングの使用を止めると電池使用時間が長持ちします。

□MNB T R: 充電容量が低下してくると3回短いビープ音が鳴ります。これは補聴器の充電残量が2時間程度になると鳴ります。この時点では、約1時間ストリーミング音声を再生できます。

□MNB T: 電池交換のタイミングになると、電池が完全になくなるまで電池容量低下警告(3回)のビープ音が一定間隔で繰り返し鳴り続けます。これは補聴器の電池残量が15分程度になると鳴ります。この時点で、Bluetooth®通信機能がオフになります。



電池容量低下警告(3回)

=電池残量が少なくなっています



電池交換警告(4回)

=電池残量が完全になくなっています

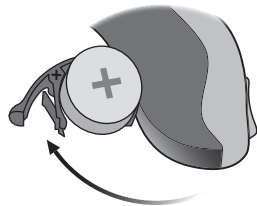
LED表示

オレンジ色の点滅を継続的に繰り返すと電池残量が少なくなっています。

電池の交換 (電池サイズ 312)

(MNB T のみ)

1. 古い電池を取り出す



電池ぶたを完全に開けてから、古い電池を取り出します。

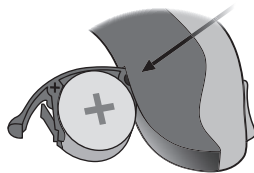
2. 新しい電池の保護シールをはがす



新しい電池の+ (プラス) 側に貼られている保護ステッカーをはがします。

ヒント: 2分ほどお待ちください。電池が吸気し、十分に反応させる必要があります。

3. 新しい電池を入れる



新しい電池をセットします。電池の+ (プラス) 側が上になっていることを確認してください。

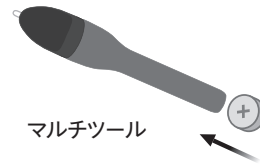
4. 電池ぶたを閉める



電池ぶたをしっかり閉めると電源が入ります。電池ぶたを閉めるとイヤピースを通じてメロディ音が聞こえます。

イヤピースを耳に近づけ、メロディ音を確認してください。

ヒント



マルチツール

マルチツールを電池交換時に活用いただくことができます。磁石のついた側を利用して、電池の出し入れを行うことができます。

マルチツールは補聴器販売店で購入いただくことが可能です。

イヤモールド付き補聴器の装着のしかた

フックおよびイヤモールドがある補聴器をお持ちの場合は以下をご覧ください。



イヤモールドは、お客様の耳にフィットするように、オーダーメイドで作成します。

ステップ 1



耳たぶをゆっくり引っ張り、イヤモールド全体を耳の中へ押し込んでください。

ステップ 2



イヤモールドがうまく耳の中へ入りましたら、補聴器を耳の裏側に乗せます。

コーダミニフィットチューブ付き補聴器の装着のしかた

コーダミニフィットチューブを使用する場合は、以下をご覧ください。

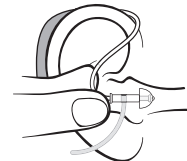
ステップ 1



補聴器を耳の後ろにかけます。

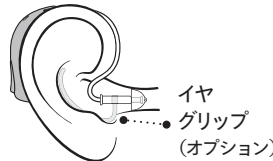
コーダミニフィットチューブは必ずイヤピースを取り付けてご使用ください。お使いの補聴器に適合したパーツをご使用ください。

ステップ 2



チューブの曲がっている部分を親指と人差し指で持ちます。そのままチューブが耳の付け根に沿うようにイヤピースを耳の穴に押し込んでください。

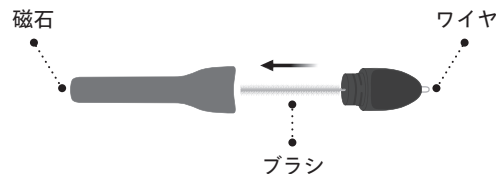
ステップ 3



人差し指で、イヤグリップを耳たぶの下へのこみ部分に入れてください。鏡を見てチューブが耳から浮いている場合は、イヤピースが正しく耳の穴の中に入っていないので入れ直してください。

お手入れ

マルチツールは、クリーニングと耳垢の掃除のためのブラシとワイヤを内蔵しています。新しいマルチツールが必要な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



重要なお知らせ

マルチツールは磁石を内蔵しています。クレジットカードや磁石の影響を受ける恐れがある機器類からは最低30cm離して保管してください。

補聴器の毎日のお手入れ

補聴器を取り扱う際には、落として壊してしまわないように椅子に座るなどして、表面のやわらかいものの上で行ってください。

マイク音孔のお手入れ

マイク音孔がゴミや汚れなどでつまっているときはマルチツールのブラシを使用し、これらの汚れをそっと取り除いてください。

無理にマルチツールを奥まで差し込まないよう気をつけてください。補聴器を傷めるおそれがあります。



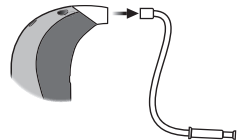
重要なお知らせ

補聴器のお手入れには、やわらかく乾いた布をご使用ください。補聴器本体を絶対に水や液体で洗ったり、浸したりしないでください。

コーダミニフィットチューブのお手入れ

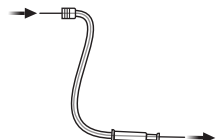
コーダミニフィットチューブは、清潔に保ち、また湿気や耳垢は取り除く必要があります。耳垢などによる詰まりは、補聴器の性能に影響を与えるのでお気をつけください。

ステップ1



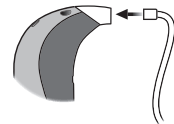
チューブを引っ張って補聴器から取り外してください。

ステップ2



クリーニングツール*をチューブの一番奥まで差し込んでください。

ステップ3



クリーニングツールを抜いて、チューブを補聴器につけてください。

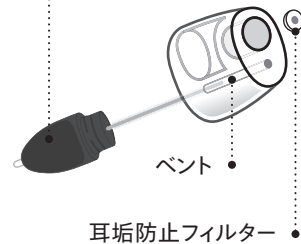
*クリーニングツールはお買い上げの販売店でお求めいただけます。

オーダーメイドイヤピースのお手入れ

イヤピースには補聴器を耳垢やゴミによるダメージから守るため白い耳垢防止フィルターが付いています。

フィルターがつまっているとき、また補聴器の音がおかしいときは専用の耳垢防止フィルターを交換するか、または聴覚ケア専門家にお問い合わせください。

- ベントにマルチツールのブラシを軽くねじりながら差し込んでください

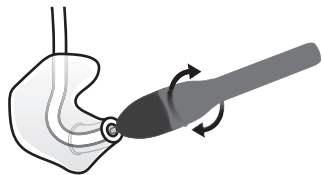


重要なお知らせ

耳垢防止フィルターは販売店で補聴器を購入した際に同梱されたものと同じものをご使用ください。耳垢防止フィルターの使用や交換についてのお問い合わせは聴覚ケア専門家にお問い合わせください。

モールドの掃除方法

イヤモールドは定期的に洗ってください。イヤモールドの表面はやわらかい布で拭いてください。



チューブの交換

イヤモールドと補聴器の間をつなぐチューブは黄色くなったり、硬くなったりしたら直ちに買い求めの販売店で交換を依頼してください。

掃除用具は、補聴器販売店にて購入いただけます。

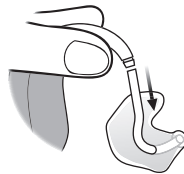
イヤモールドの洗い方

ステップ 1



イヤモールドを補聴器からはずす前に、イヤモールドの左右を必ず確認してください。必ず左用のイヤモールドは左用の補聴器に、右用のイヤモールドは右用の補聴器につけてください。

ステップ2



イヤモールドとチューブをフックの部分から外してください。チューブをはずす際はフックをしっかり抑えてください。無理に引っ張ると補聴器などの故障の原因につながることがあります。

ステップ 3

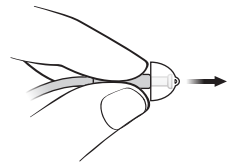


中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗って、水でよくゆすいでください。イヤモールドとチューブが完全に乾いていることを確認してから補聴器につけてください。

標準的なイヤピースの交換

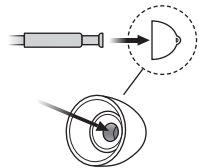
標準的なイヤピース（ドームやグリップチップ）は洗浄しないでください。汚れたり古くなってきた際には、交換してください。交換時期の目安は一カ月に一度です。交換が難しい際は、お買い上げの販売店へご相談ください。

ステップ 1



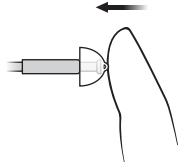
極細チューブを持ちながら爪の先などでイヤピースの付け根をつまんで、引っ張って外してください。

ステップ 2



新しいイヤピースを極細チューブにしっかりと押し込んでください。

ステップ 3



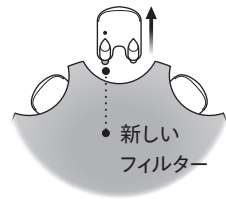
イヤピース類が落ちないように必ずしっかりと奥まで押し込んでください。古いイヤピースは廃棄ください。

重要なお知らせ

補聴器を外した際にドーム類がついていない場合は、外耳道にドームが残っている場合があります。対処については、耳鼻科医また補聴器販売店へご相談ください。

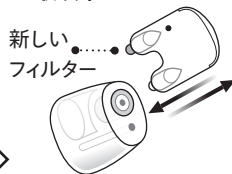
プロワックスフィルター(耳垢防止フィルター)の交換

1. ツールを取り外す



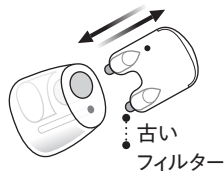
ケースからツールを取り外します。ツールには2種類のピン—空のピンと交換用フィルターの取り付けられているピンがあります。

2. 古いフィルターの取り外し



空のピンをモールドに取り付けられている古いフィルターに押し付け、引き抜きます。

3. 新しいフィルターの挿入



新しいフィルターが付いている側のピンを挿入し、新しいフィルターを装着してください。装着後ツールを引き抜きます。

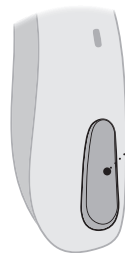
重要なお知らせ

プロワックスフィルターは販売店で補聴器を購入した際に同梱されたものと同じものをご使用ください。プロワックスフィルターの使用や交換についてのお問い合わせは聴覚ケア専門家にお問い合わせください。

プログラムの切り替え

お買い上げの補聴器は4つまでのプログラムを設定できます。プログラムの設定は聴覚ケア専門家が行います。プログラム切り替え時に、プログラム番号に応じて1回～4回通知音が鳴ります。

通知音については**通知音とLED表示**を参照ください。

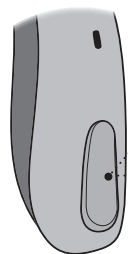


● プログラムを切り替え時にはボタンを押します。

両耳で補聴器を装用する場合、右側の補聴器のボタンを押すとプログラムが進み(例:プログラム1→プログラム2)、左側の補聴器のボタンを押すとプログラムが戻ります(例:プログラム4→プログラム3)。

音量調節

補聴器のプッシュボタンを操作して補聴器の音量を変更することが出来ます。音量を上下させるとピツという音が鳴ります。



- ボリュームを上げるには、右側の補聴器のスイッチを短く押してください。
- ボリュームを下げるには、左側の補聴器のスイッチを短く押してください。



最大音量

(開始位置)

適正音量に戻るとビピツと音が鳴ってお知らせします。

最小音量

補聴器の保管

(MNBTRのみ)

補聴器を使用しない時は必ず補聴器を充電器にセットした状態にしてください。

充電電池の寿命を長持ちさせるために、過剰に高温な環境に補聴器をさらさないでください。補聴器を充電器にセットした状態だとしても、日向の窓際や炎天下の車内などに放置しないでください。

長期間の保管

長期間(14日以上)補聴器を使用せず保管する前に、フル充電してください。その上で補聴器の電源をオフにしてください。この処置をした場合は、再び充電が可能です。

重要なお知らせ

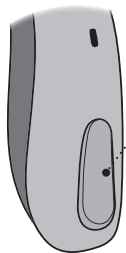
周囲の温度が40℃(104°F)の場合、補聴器の表面が許容温度の43℃(109°F)以下に達することがありますのでご注意ください。

注意

充電電池保護のため、6ヶ月毎に充電してください。6ヶ月以内に充電しない場合は、充電電池を交換してください。電池交換はメーカーが実施します。お買い求めの販売店へご相談ください。

機内モード

機内モードがオンになると、Bluetooth通信機能がオフになりますが、補聴機能はオンのままです。片側の補聴器のプッシュボタンで両耳の補聴器を機内モードに設定します。通知音とLED表示については「**通知音とLED表示**」の項を参照ください。



● **機内モードのオン・オフ**
ボタンを7秒間押し続けてください。
確認音が鳴ります。

また、電池ふたの開閉により機内モードをオフにすることができます。
(MNB T のみ)

LED表示ライト

機内モードになると、LEDが緑色・オレンジ色・オレンジ色の順に数回点滅します。

消音

MNB T と MNB T R は、下記のオプション機器またはアプリを使用することで消音にすることができます：

- ヒアリンクアプリ (HearLink app)
- オーディオクリップ
- リモートコントロール

消音機能をオフにする方法

消音機能をオフにするには上記機器又はアプリで操作するか、補聴器のプッシュボタンのいずれかを短く押してください。

MNB T の場合のみ

プッシュボタンの下側を4秒間押し続けることで消音機能をオンにすることができます。

重要なお知らせ

消音機能を電源オフの代わりとして使用しないでください。
消音機能では、音が出なくても電池は消耗します。

iPhone、iPad及びiPodに接続して使用するとき

本製品はMade for iPhone®補聴器であり、iPhone, iPad® またはiPodtouch®にワイヤレス通信で直接接続します*。

HearLink appは、補聴器を携帯電話から操作ができます*。

補聴器とアップル社製品とのペアリングのサポートに関しましては、聴覚ケア専門家にお問い合わせください。

“Made for Apple”バッジとは、電子アクセサリがApple社製品への接続専用に設計された製品でありApple社の性能基準に適合していることをデベロッパが認定済みです。Apple社はこの補聴器の動作及び安全性、規制基準の適合に関する責任はありません。iPod、iPhone、またはiPadと当該アクセサリを使用すると、ワイヤレス性能に影響が生じることにご注意ください。

*iPhone、iPad、iPodtouch、Android機器の互換製品リストは下記ウェブサイトを参照ください：
hearingsolutions.philips.com/ja-jp/compatibility

Android機器に接続して使用するとき

本製品はAudio Streaming for Hearing Aids (ASHA)をサポートしており、お使いのAndroid™ 機器*と直接通信し、Android™ 機器によって操作することができます*。

HearLink app は、補聴器を携帯電話から操作ができます*。

補聴器とAndroid機器との使用に関しましては、聴覚ケア専門家にお問い合わせください。

ペアリングと互換性

補聴器とiPhone、iPad、iPod touch又はAndroid機器とのペアリング方法については、下記ウェブサイトを参照ください。

hearingsolutions.philips.com/ja-jp/support/how-to-faq/

iPhone、iPad、iPod touch、Android機器の互換製品リストは下記ウェブサイトを参照ください。

hearingsolutions.philips.com/ja-jp/compatibility

外部機器とのワイヤレス接続

お買い上げの補聴器には、ワイヤレス機能が搭載されており、ワイヤレスでさまざまな外部機器と接続することができます。日常生活の多くの場面でよりよい聞き取りやコミュニケーションをサポートします。

オーディオクリップ

携帯電話とペアリングして、補聴器をハンズフリーヘッドセットとして使用できます。リモートマイクとしても使用することができます。

リモートコントロール

補聴器のプログラム切り替えと音量調節、消音を行うことができます。

テレビアダプター

テレビアダプターはテレビやその他オーディオ機器の音声を補聴器に直接届けます。

HearLink app

補聴器を携帯電話やタブレットから操作できるアプリケーションです。iPhone、iPad、iPodtouch、Android端末に対応しています。公式アプリストアからのみダウンロードするようにしてください。

テレコイル

テレコイル対応電話や、ループシステムを採用した建物(映画館、講堂など)で聞き取りをサポートします。上記マーク又は類似のマークのある場所ではテレコイルが採用されています。



Apple、Appleロゴ、iPhone、iPad、iPod touchは、米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
App StoreはApple Inc.のサービスマークです。Android、Google Play、Google PlayのロゴはGoogle LLC.の商標です。

⚠ 注意事項

補聴器を正しくかつ安全にお使いいただくために、補聴器をお使いになる前に本取り扱い説明書の注意事項を正しくご理解いただいた上でご使用ください。

補聴器に関して予期しない動作や事象が発生した場合には、お買い上げの補聴器販売店へご相談ください。販売店は問題の対応のサポートを行い、必要に応じて関係当局に報告を行います。

補聴器は以前の聞こえに戻すものではなく、器質性疾患による聴力低下を防いだり治したりすることはできません。補聴器は聴覚利幅の一部であり、聴覚訓練や読唇術の指導で補う必要がある場合があります。又、補聴器のメリットを最大限ご体感頂くために、日常的に装用してください。

必ず専用の充電器で充電してください。その他の方法で充電すると補聴器と充電電池の故障の危険性があります。

補聴器の使用

聴覚ケア専門家によって調整された補聴器を指示通りにお使いください。間違った使用方法によって、聴力低下の原因になる場合があります。

ご自身の補聴器は絶対に他の人に使用させないでください。間違った使用は聴覚器官を傷める原因となる場合があります。

補聴器・電池の誤飲と窒息の危険性

補聴器やその部品、電池は幼児やあやまってこれらを飲み込む危険性のある人の手の届かない場所へ置いてください。

薬を飲むときに、電池を特に錠剤と間違えることがありますので、十分ご注意ください。

補聴器やその部品を誤って飲み込んだ場合には、すぐに医療機関を受診してください。

電池使用 (MNB T のみ)

電池は販売店推奨のものをお使いください。品質の悪い電池は補聴器の機能の低下や、液漏れによる故障や事故を引き起こすことがあります。

電池の充電を行わないでください。また電池を火中に投げないでください。破裂などによってけがの原因になる危険性があります。

爆発 (MNB T R のみ)

通常の使用状態において、この補聴器の電源は、発火の誘引となるエネルギーはありません。爆発的雰囲気に関する国際規格に適合する試験を実施していません。

そのため、爆発の危険がある環境(例：鉱山、酸素が豊富な環境、可燃性麻薬を取り扱う場所)で補聴器を使用しないでください。

リチウムイオン電池を飲み込むこと及び、耳や鼻に入れることの命に関わる危険性 (MNB T R のみ)

リチウムイオン電池を飲みこんだり、耳や鼻に入れることは絶対に避けてください。2時間以内に重篤な損傷または死亡に至る危険性があります。これは科学的熱傷により、耳や鼻への恒常性の損傷や、潜在的に内臓への穿孔につながるためです。リチウムイオン電池を飲み込んだり、耳や鼻に入ってしまった場合は、直ちに緊急救命を受診してください。

充電電池 (MNB T R のみ)

補聴器の電池ぶたを開けようとしないでください。電池を傷める可能性があります。

電池を自身で交換しないでください。電池交換が必要な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。改ざんの兆候がある場合は、保証対象外となります。

次ページに続く

⚠ 注意事項

電池が液漏れした場合は、補聴器を装用しないでください。液漏れした電池からの酸により、皮膚に刺激を与える可能性があります。漏れたバッテリーの酸が肌に触れた場合は、濡れた布で拭き取り、酸が肌に残らないようにしてください。皮膚の炎症を経験した場合は、医師にご相談ください。補聴器の取り扱いについては、聴覚ケア専門家にご相談ください。

USBコネクタを使用した充電の安全性は、外部信号源によって決まります。電源コンセントに接続された外部機器と接続する場合、接続する機器はIEC 62368-1または同等の安全規格に適合している必要があります。

機能停止の可能性

補聴器は警告音なしに機能を停止する可能性があります。警告音で動作状況を判断している場合には特に留意ください。

(例：交通量のある道路沿いなど) 電池切れ、スピーカーなどへの水分の付着や耳垢などによって補聴器が機能を停止する可能性もあります。

体内埋め込み型(能動型)機器

お使いの補聴器は、人体への電磁力および電圧誘導の人体曝露に関する国際基準(比吸収率 - SAR)に基づき人の健康に対して徹底的に試験・特性評価されています。

この曝露値は、人間の健康基準およびペースメーカーや心臓除細動器などの能動的な医療用インプラントとの共存で定義された、人体へのSAR、誘発電磁力および電圧誘導の国際的に許容される安全限界を大きく下回っています。

能動型脳インプラントをご使用の場合には、埋め込み型機器のメーカーに干渉の危険性に関してお問い合わせください。

埋め込み型機器をスマートフォン用磁石や内

蔵磁石のあるお手入れ用ブラシを30cm(1フィート)以上近づけないでください。(例：胸ポケットなどに入れて持ち歩かない等)

一般に、磁石を使用する場合は、埋込み型除細動器およびペースメーカーのメーカーが推奨するガイドラインに従ってください。

人工内耳

片方の耳に人工内耳(CI)を使用し、もう一方の耳に補聴器を使用している場合は、CIを補聴器から少なくとも1センチメートル(0.4インチ)離してください。CIサウンドプロセッサー、コイル、および磁石からの磁場により、補聴器のスピーカーユニットに損傷を与える可能性があります。補聴器の掃除や電池交換するときなど、テーブルの上に両方の機器を近づけないでください。CIと補聴器を同じ箱に入れて持ち運ばないでください。

レントゲン/CTスキャン/MRI/PETなどの検査や電気療法をする際の注意

レントゲンやCTスキャン、MRI、PETスキャンなどの検査、または電気療法や手術などの治療を行っている際には、補聴器が故障することがありますので、補聴器をはずしてください。

高温や薬品

補聴器を火に近づけたり炎天下の車内など高温の場所に長時間放置しないでください。

補聴器を電子レンジやオープンなどに入れないでください。

補聴器を装用したまま、化粧品、ヘアスプレー、香水、アフターシェーブ、虫除けスプレーなどを使用しないでください。使用する場合には補聴器を外してください。それらが完全に乾いてから補聴器を使用してください。

次ページに続く

⚠ 注意事項

起こりうる副作用

補聴器、モールドやドームを使い始めると耳垢が出やすくなることがあります。

お買い上げの補聴器はアレルギー誘発性物質を排除していますが、まれに耳の中にかゆみを生じたりや通常とは異なる状態が発生する可能性もあります。

耳に何らかの異常を感じた場合は、医療機関を受診してください。

航空機内での使用

当該補聴器はBluetooth通信機能を搭載しているため、許可のない限り、機内では機内モードをオンにしなくてはなりません。

外部機器との接続について

本補聴器をUSBケーブルで外部機器と接続または直接接続した場合の安全性は、接続された外部の信号源によって決まります。本製品を電源コンセントに差し込む必要のある外部機器に接続する場合、その機器はIEC 62368-1または同等の安全規格に適合している必要があります。

非正規品との非互換性について

本製品メーカーより供給されたアクセサリ、トランスデューサー、ケーブルを使用ください。非正規品の使用は電磁ノイズに対する電気・電子機器の耐性(EMC)の低下につながる恐れがあります。

変更・修正の禁止

メーカーよって明示的に承認されていない変更または修正は、機器を操作するためのユーザーの権限を無効にする可能性があります。



干渉

当該補聴器は、最も厳しい国際基準に従って電磁波干渉について徹底的に品質検査が行われています。

上記記号のある装置の近くでは、電磁干渉が発生する場合があります。ポータブルおよびモバイルRF(無線周波数)通信機器は、補聴器の性能に影響を与える可能性があります。補聴器が電磁干渉の影響を受ける場合、干渉を減らすために干渉原因から遠ざけてください。

外耳道内で脱落したイヤピース

耳から取り外したときに極細チューブからイヤピースがない場合は、イヤピースが外耳道に残っている可能性があります。詳細の指示については聴覚ケア専門家にご相談ください。

トラブルシューティング / 故障と思われるときの対処法

症状	可能性のある原因	対策
音が出ない	補聴器の電源切れ	補聴器を充電する (MNB T R のみ) / 新しい電池に取り替える (MNB T のみ)
	充電電池の容量がない	聴覚ケア専門家へ連絡をする (MNB T R のみ) / 新しい電池に取り替える (MNB T のみ)
	イヤピースの音の出口が詰まっている (ドーム類、グリップチップ、マイクロモールド)	モールドを掃除する、または耳垢防止フィルターを交換する ドームまたはグリップチップを交換する
	補聴器のマイクが消音状態	消音機能をオフにする
プツプツ音がする、音が弱い	音の出口が詰まっている	モールドを掃除する、または耳垢防止フィルター、ドームまたはグリップチップを交換する
	湿気	電池を柔らかい布で拭く、 (MNB T のみ)
ピーピー音がする	補聴器がきちんと耳に入っていない	補聴器を入れ直す
	耳の中に耳垢が詰まっている	耳鼻科医を受診する
	耳が成長した	聴覚ケア専門家へ連絡をする
ビープ(警告)音が聞こえる (サービスリペアモード)	補聴器から連続したビープ音が、4回にわたって聞こえた場合には、補聴器のアンプユニットのチェックが必要	聴覚ケア専門家へ連絡をする
スマートフォンとのペアリングの問題について	Bluetoothの接続が失敗した	1) 補聴器とのペアリングを解除 2) ブルートゥース設定をいったんオフにして再度オンにする 3) 補聴器の電池ふたの開閉を行う (MNB T のみ) もしくは補聴器を一旦オフにした後再起動する (MNB T R のみ) 4) 補聴器と再ペアリングを行う (hearingsolutions.philips.com/ja-jp/support/how-to-faq/ を参照ください)
	片方の補聴器のみペアリングがされている	

注意

以上で解決しない場合には、聴覚ケア専門家にご相談ください。

トラブルシューティング / 故障と思われるときの対処法

MNB T R のみ — 充電器に関わるトラブルシューティングは、充電器の取扱説明書を参照ください。

症状	可能性のある原因	対策
充電器にセットしても補聴器のLEDが点灯しない	充電器が外部電源につながっていない	正しく外部電源に接続していることを確認する
	補聴器または充電器が過度に熱い又は冷たい	充電器と補聴器を+5 °C～+40 °Cの温度環境にする
	充電が不十分。充電池を保護するため充電プロセスを停止する。	再度補聴器を充電器にセットする。この場合充電は約15分で完了する
	補聴器が正しく充電器にセットされていない	補聴器の設置位置に異物がないか確認する
充電器にセットした時、補聴器のLEDが緑色点滅する	補聴器が長期間使用されていなかった	補聴器の充電池の消耗度合いに応じて、補聴器は最大10分の後に自動的に通常の充電プロセスを開始します。このプロセス中は、補聴器を充電器に入れたままにしてください。
充電器にセットした際に補聴器のLEDがオレンジ色に点滅する	システムエラー	聴覚ケア専門家へ連絡をする

注意
以上で解決しない場合には、聴覚ケア専門家にご相談ください。

より良い聞こえのための7つの簡単なステップ

補聴器を装用し始めて数日から数週間は、特に補聴器を初めて使用される方は、耳慣れない音が聞こえてきます。下記のステップで、新しい音や長い間聞いていなかった音に慣れていくことができます。

① 家の静かな所での練習

家などの静かな所で補聴器をつけ、新たに聞こえてくるいろいろな音に慣れましょう。新しく聞こえる音は何の音なのかを一つ一つ確かめてみましょう。今まで聞こえていた音も補聴器で聞くと感じが違って聞こえることがあります。徐々に周囲の音に慣れていきます。

補聴器を使っていて疲れを感じる時は、少し休んでください。徐々に補聴器の音に慣れるのに従い長時間装用することができるようになり、一日中快適に装用できるようになります。

② 一対一の会話

まず、静かな部屋で、顔の表情を読み取りやすいように、向かい合って座ってください。最初は少し大きく騒がしく感じるくらいの、いつもとは違った新しい会話の音が聞こえてきます。けれども、脳がその新しい音声に適応していくにつれて、人の声が以前よりも鮮明に聞こえるようになります。

③ ラジオやテレビを聴きましょう

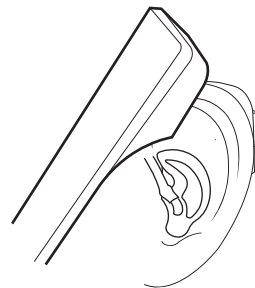
始めは言葉が聞き取りやすいニュース番組を聞いてください。そして、他の番組をお試しください。

④ 数人での会話

レストランなどで数人で会話をしているときなどは、ふつう周囲の雑音が大きく聞き取りが難しくなります。話している人に注意を集中してみてください。その人の話が分かりますか。周りに雑音がある場合には、なかなか聞き取りが難しいと思いますが、そのような時は遠慮なく聞き返してください。

⑤ 電話で話す

補聴器を装着したまま電話をかける時には、受話器の上側のふちを頬骨に沿って軽くあてるようにして持ち、電話の受話器からの音が補聴器のマイクに直接入るようにします。こうすると、ピーピー音がならず、会話を聞くことができます。この持ち方をしたときには、電話の相手に良く聞こえるように受話器のマイクに直接話しかけるようにしてください。



⑥ 携帯電話など

お買い上げの補聴器は、国際EMC（電磁両立性）規格に適合しています。しかしながら、携帯電話の種類やメーカーによっては、補聴器にノイズが入るかもしれませんが、故障ではありません。

⑦ 補聴器を常時装用するように心がける

より良い聞こえを実現するためのベストな方法は、一日中補聴器を使用することができるまで、補聴器をつけて聞く練習をすることです。補聴器はその音に慣れていただくことによって、より効果が発揮できます。

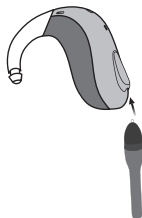
補聴器を装用することによって以前の聞こえが戻るわけではありません。また、補聴器は難聴を予防したり、治すことはできません。しかし、お客様の聞こえの力をサポートすることができます。両耳に補聴器をご購入の場合は、2つとも装用してください。

装用中に違和感を感じた場合には販売店へご相談ください。

製品情報を見る

シリアル番号、CEラベル、製造年月日などの補聴器に関する情報は、補聴器のプッシュボタンの後ろにあります。プッシュボタンを開けるには、補聴器に付属しているマルチツールか、先の尖った適切なツールが必要です。

ツールを挿入



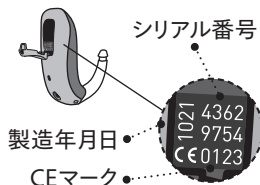
プッシュボタンの下部にある穴にツールを挿入します。

プッシュボタンを開ける



ツールを穴に押し込み、後ろに引くとボタンのドアが開きます。マルチツールを破損しないように、図のように持ってください。

情報を読み取る



補聴器を逆さまにして情報を読み取る。

プッシュボタンを閉める



ボタンを元の位置に押し戻します。プッシュボタンが正しく閉じられると、「カチッ」と音がします。

重要なお知らせ

補聴器に記載されているシリアル番号は、聴覚ケア専門家も提供することができます。補聴器の破損を防ぐため、適切なツールを使用してプッシュボタンを開けてください。

防塵・防水対応について(IP68)

お買い上げいただきました補聴器は日常防水対応の補聴器です。同補聴器は防水・防塵の指標となる国際規格を取得しておりますが、完全防水ではありません。

MNB T のみ

補聴器が水に濡れたり、過度の湿気にさらされるなどして動作しなくなった場合は、次の手順に従ってください：

1. 補聴器の外側についた水分をそっとふき取ってください。
2. 電池ぶたを開け、電池を取り除き電池室内部の水分を慎重にふき取ってください。
3. 補聴器の電池ぶたを開けたまま、補聴器を30分以上乾かしてください。
4. 新しい電池を入れてください。

重要なお知らせ

入浴時や水泳、シュノーケリング、ダイビングなどのスポーツを行う際には補聴器を外してください。補聴器を水やその他の液体に浸すことはおやめください。

動作環境について

(MNB T のみ)

動作環境条件	温度: +1°C ~ +40°C (34°F ~ 104°F) 湿度: 5% ~ 93%RH、ただし結露しないこと 気圧: 700 hPa ~ 1060 hPa
保管条件および 輸送条件	保管および輸送の際、以下の範囲を超えないこと： 輸送： 温度: -25°C ~ +60°C (-13°F ~ 140°F) 湿度: 5% ~ 93%RH、ただし結露しないこと 気圧: 700 hPa ~ 1060 hPa 保管： 温度: -25°C ~ +60°C (-13°F ~ 140°F) 湿度: 5% ~ 93%RH、ただし結露しないこと 気圧: 700 hPa ~ 1060 hPa

動作環境について

(MNB T R のみ)

動作環境条件	温度: +5℃ ～ +40℃ (41°F ～ 104°F) 湿度: 5% ～ 93%RH、ただし結露しないこと 気圧: 700 hPa ～ 1060 hPa
充電環境条件	温度: +5℃ ～ +40℃ (41°F ～ 104°F) 湿度: 5% ～ 93%RH、ただし結露しないこと 気圧: 700 hPa ～ 1060 hPa
保管条件および 輸送条件	保管および輸送の際、以下の範囲を超えないこと: 輸送: 温度: -20℃ ～ +60℃ (-4°F ～ 140°F) 湿度: 5% ～ 93%RH、ただし結露しないこと 気圧: 700 hPa ～ 1060 hPa 保管: 温度: -20℃ ～ +30℃ (-4°F ～ 86°F) 湿度: 5% ～ 93%RH、ただし結露しないこと 気圧: 700 hPa ～ 1060 hPa

注意
充電器に関する情報: 動作環境については充電器の取扱説明書を参照ください。

保証とアフターサービス

保証書について

この取り扱い説明書には保証書に関する記載が記されています。製品保証書は必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき大切に保管してください。

国際保証について

日本国外でも保証条件を満たしたものは、無料修理が可能です。修理に際しましては、国際保証カードの提示が必要になります。国際保証カードが必要な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

故障などの場合

この補聴器の補修用部品の保有期間は製造中止後5年間となります。補修用部品はこの補聴器の機能を維持するために必要な部品です。補聴器の故障、また不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店へお持ちください。

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に本取扱説明書の52ページに従ってご確認ください、なお異常がある場合には、使用を中止しお買い上げの販売店へご依頼ください。

○保証期間中は

お買い上げの販売店まで保証書をそえて補聴器をご持参ください。

○保証期間を過ぎている場合は

お買い上げの販売店に御相談ください。修理によって補聴器の性能が維持できる場合には、ご希望に応じて有料修理を承ります。

修理・お手入れ・お取り扱いに関するご相談は、まずお買い求めの販売店へご相談ください。

オーティコン補聴器

カスタマーサービスのご案内

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地ソリッドスクエア西館16階

電話：044-543-0615 FAX：044-543-0616

受付時間 平日9:30～17:30(土日祝日を除く)

e-mail: info@oticon.co.jp

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がございます。

国際保証

日本国外における保証(制限付き保証)

日本以外の国における本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証対象は、電池や耳垢防止フィルターといったアクセサリパーツを除く機器本体となります。国際保証カードに「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。国際保証カードが必要な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。当該規定は弊社の国際保証規定により修理をお約束するものであり、法律上のお客様の権益を制限するものではありません。

お客様の誤った使用・過失・改造による故障および損傷に対しての修理、耳の状態変化、異物の混入による損傷に対しては、保証期間内であっても保証適用外となり修理をお断りする場合がございます。販売店によってはこの制限付き保証書の条項を越えた保証を提供する場合があります。詳しくは販売店までお問い合わせください。

日本国外において調整サービスを必要とする場合

補聴器販売店また補聴器販売に関わる専門家のもとに、補聴器をお持ちください。補聴器の軽微な修理サービスや調整をその場で受けることが可能です。一部に国際保証サービスをご提供できない拠点があります。サービス提供の有無については販売店までお問い合わせください。

性能一覧表

MNB T R (HearLink 9030, 7030, 5030, 3030, 2030)

<イヤホン85(スピーカー85)>

●特性

電池形式、電圧	MNB T R: リチウムイオン電池	電池電流	2.0mA+20% 以下
規 準 周 波 数	1600Hz	全 高 調 波 歪	500Hz : 4%未満+3% 以下 800Hz : 3%未満+3% 以下 1600Hz : 2%未満+3% 以下
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値: 119dB±4dB SPL ピーク値: 123dB+3dB SPL 以下	自動利得調整器 (AGC)	定常状態入出力特性図 アタックタイム: 5ms±5ms リリースタイム: 22ms±50% (More1) 23ms±50% (More2/3, Zircon1/2)
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均: 47dB±5dB ピーク値 : 54dB+3dB 以下		
規 準 周 波 数 レスポンス曲線	レスポンス図 帯域幅: f1=<200Hz, f2=>5000Hz 規 準 利 得 : 41dB	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	78dB±6dB
等価入力雑音レベル	17dB+3dB 以下	試験用ループに対する 等価感度 (ETLS)	0dB±4dB

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

性能一覧表

MNB T (HearLink 9030, 7030, 5030, 3030, 2030)

<イヤホン85(スピーカー85)>

●特性

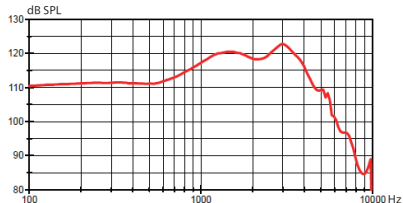
電池形式、電圧	MNB T: 空気電池 PR41(312) 1.4V	電池電流	2.0mA+20% 以下
規 準 周 波 数	1600Hz	全 高 調 波 歪	500Hz : 4%未満+3% 以下 800Hz : 3%未満+3% 以下 1600Hz : 2%未満+3% 以下
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値: 119dB±4dB SPL ピーク値: 123dB+3dB SPL 以下	自動利得調整器 (AGC)	定常状態入出力特性図 アタックタイム: 5ms±5ms リリースタイム: 22ms±50% (More1) 23ms±50% (More2/3, Zircon1/2)
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均: 48dB±5dB ピーク値 : 54dB+3dB 以下		
規 準 周 波 数 レスポンス曲線	レスポンス図 帯域幅: f1=<200Hz, f2=>5000Hz 規 準 利 得 : 42dB	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	78dB±6dB
等価入力雑音レベル	17dB+3dB 以下	試験用ループに対する 等価感度 (ETLS)	0dB±4dB

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

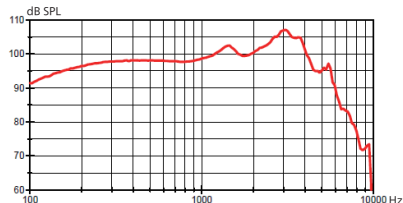
特性表

HearLink 9030 MNB T R<イヤホン85 (スピーカー85)>

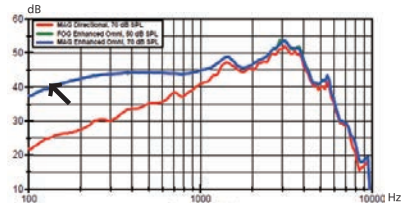
●90dB最大出力音圧レベル



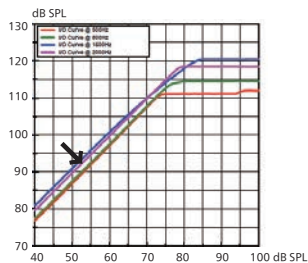
●周波数特性



●最大音響利得



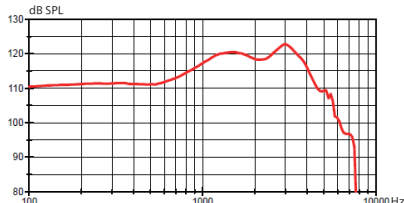
●定常状態入出力特性



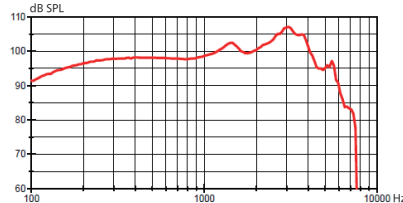
特性表

HearLink 7030 MNB T R, 5030 MNB T R<イヤホン85 (スピーカー85)>

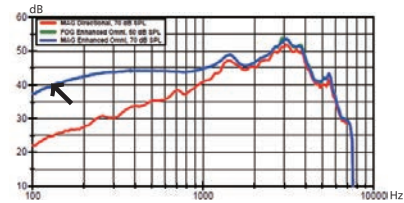
●90dB最大出力音圧レベル



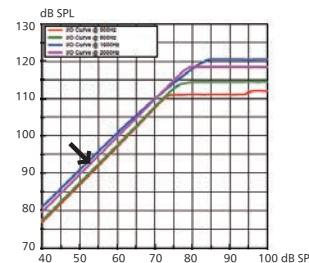
●周波数特性



●最大音響利得



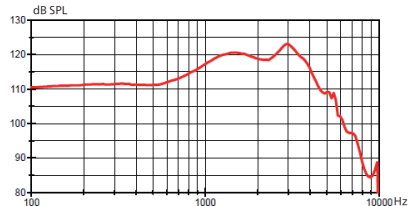
●定常状態入出力特性



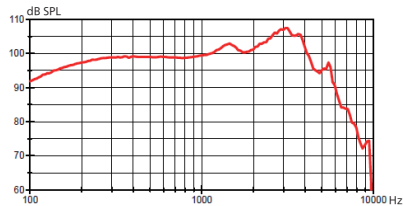
特性表

HearLink 9030 MNB T<イヤホン85 (スピーカー85)>

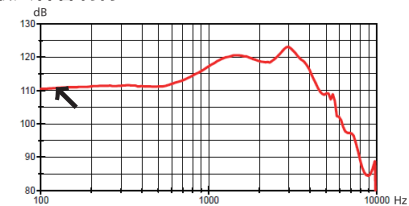
●90dB最大出力音圧レベル



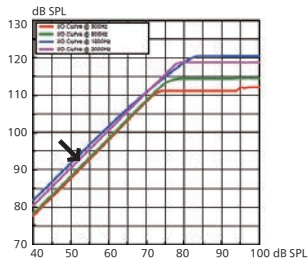
●周波数特性



●最大音響利得



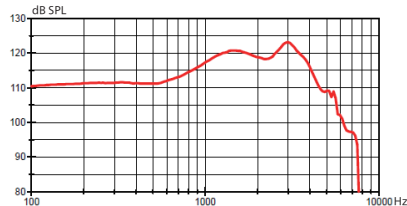
●定常状態入出力特性



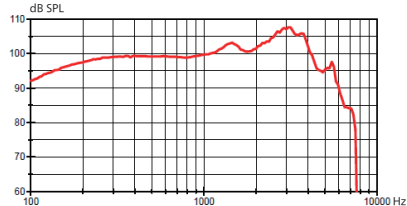
特性表

HearLink 7030 MNB T, 5030 MNB T<イヤホン85 (スピーカー85)>

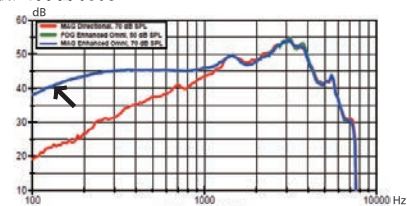
●90dB最大出力音圧レベル



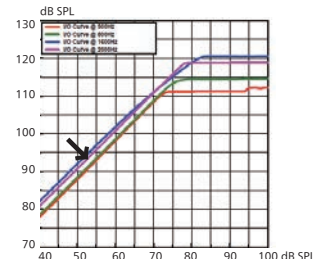
●周波数特性



●最大音響利得



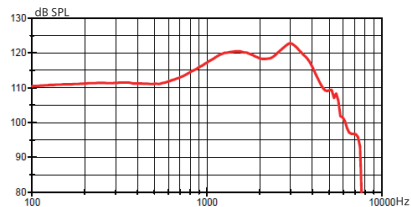
●定常状態入出力特性



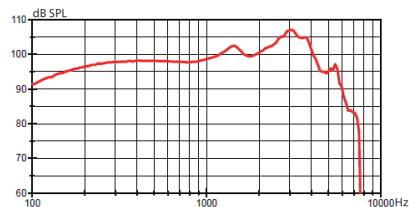
特性表

HearLink 3030 MNB T R, 2030 MNB T R<イヤホン85 (スピーカー85)>

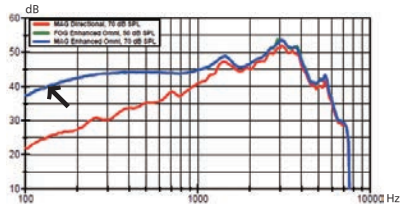
●90dB最大出力音圧レベル



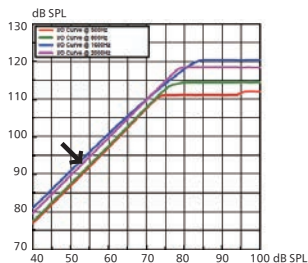
●周波数特性



●最大音響利得



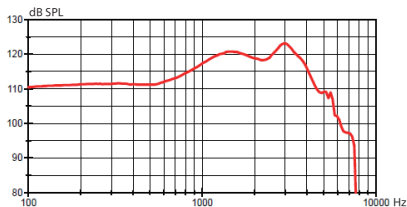
●定常状態入出力特性



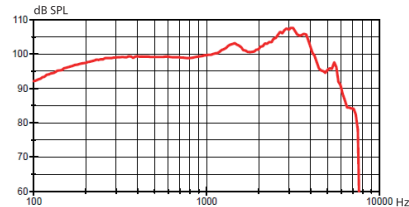
特性表

HearLink 3030 MNB T, 2030 MNB T<イヤホン85 (スピーカー85)>

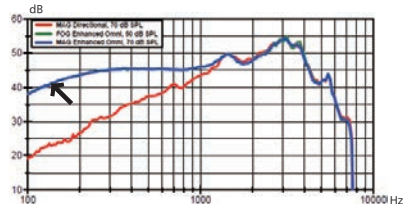
●90dB最大出力音圧レベル



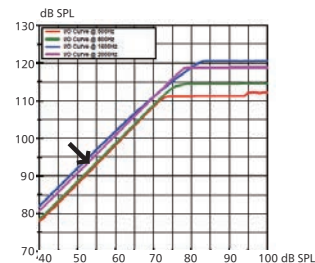
●周波数特性



●最大音響利得



●定常状態入出力特性



技術適合基準、安全基準および認可番号

この補聴器には、下記の2つの無線送信機が搭載されています:

3.84MHzの短距離磁界誘導技術を使用した無線送信機を搭載しています。送信機の磁場の強さは非常に低く、常に-40 dB μ A/m (-12.20 dB μ A/ft)@10m(33フィート)以下です。

また、ISMバンドである2.4GHz周波数帯を利用したBluetooth Low Energy(BLE)及び独自の短距離無線技術を使用した無線送信機も搭載しています。

無線送信機は弱く、常に9 mW未満であり、総放射電力は9.6dBmに相当します。

本製品は、電磁両立性と人体への曝露に関する国際的な規格に適合しています。本製品は無線通信が許可されている場所でお使いください。

同補聴器は大きさが限られているので、認可規格の表示は本書に示されています。

詳細な情報は下記URLの**スペックガイド**を参照ください:
hearingsolutions.philips.com/ja-jp

メーカーは、本製品が2014/53/EU指令の基本要件及びその他の関連規定に準拠していることを宣言します。

本医療機器は欧州医療機器規制(EU)2017/745に準拠しています。

この補聴器に関する適合宣言は、製造者より入手可能です。

SBO Hearing A/S
Kongebakken 9
DK-2765 Smørum
Denmark
hearingsolutions.philips.com/doc

CE 0123



SBO Hearing A/S
Kongebakken 9
DK-2765 Smørum
Denmark



Waste from electronic
equipment must be
handled according to
local regulations.

 Bluetooth®



IP68

本書で使用される凡例	
	注意事項 本記号の記された事項は、製品の使用前に必ずお読みください。
	メーカー 本製品メーカーの名称と住所は記号の横に記載されています。これは欧州指令2017/745に定義されている通りの医療機器メーカーであることを示します。
	CEマーク 全ての関連する欧州指令・規則に準拠しています。 4桁の数字は、通知された認証機関の識別を示します。
	Electronic waste (WEEE) / 廃棄 Recycle hearing aids, accessories or batteries according to local regulations. Hearing aid users can also return electronic waste to their hearing care professional for disposal. Electronic equipment covered by Directive 2012/19/EU on waste and electrical equipment (WEEE). 本記号は、補聴器やその付属品、電池を通常と異なる廃棄物の処分が求められる可能性があることを示します。処分される際はお住いの自治体が定める方法に従ってください。
	Regulatory Compliance Mark (RCM) The device complies with electrical safety, EMC and radio spectrum requirements for devices supplied to the Australian or New Zealand markets.
	IPコード 本記号は有害な水や粒子分子の侵入に対する、EN 60529に準じた保護等級を示します。IP6Xは完全な防塵保護を示します。IPX8は継続して水に浸された場合の保護を示します。
	Bluetoothロゴ Bluetooth SIG, Incの登録商標であり、これを使用するにはライセンスを要します。

	Made for Appleバッジ デバイスがiPhone、iPad、iPod touchに対応していることを示します。
	Androidバッジ デバイスがAndroidに対応していることを示します。
	ヒアリンググループ このロゴは補聴を表す普遍的なシンボルです。「T」の文字はヒアリンググループが設置されていることを示します。
	無線周波数(RF)トランスミッター 本製品はRFトランスミッターを搭載しています。
	Global Trade Item Number (GTIN) 医療機器用ソフトウェアを含む医療機器を識別するための14桁のグローバル識別コードです。本書に記載されるGTINは医療機器ファームウェアに関連します。法規パッケージラベル上に記載のGTINは医療機器ハードウェアに関連します。
	FW デバイスで使用されているファームウェアバージョンを示します。
	CTN Commercial Trade Number

REACH Declaration

REACH requires Philips Hearing Solutions to provide chemical content information for Substances of Very High Concern (SVHC) if they are present above 0.1% of the article weight. Recent information can be found on the website [hearingsolutions.philips.com/REACH](https://www.hearingsolutions.philips.com/REACH).

パッケージラベルで使用する凡例	
	湿気厳禁 湿気から保護する必要のある医療機器を示します。
	注意 取扱説明書の警告と注意を御覧ください。
	カタログ番号 医療機器を識別するためのメーカーのカタログ番号を示します。
	シリアル番号 特定の医療機器を識別するためのメーカーのシリアル番号を示します。
	医療機器 本製品は欧州指令・規則に基づく医療機器です。
	電池リサイクル記号 Li-Ion電池のリサイクル記号です。
	温度限界 医療機器を安全に運用できる温度限界を示します。
	湿度限界 医療機器を安全に運用できる湿度限界を示します。
	無線周波数識別 製造およびサービス目的でデバイスに組み込まれたパッシブRFIDタグを搭載しています。

補聴器の設定

聴覚ケア専門家が記入します。

補聴器設定の概要			
左			右
☐ はい	☐ いいえ	音量調節	☐ はい ☐ いいえ
☐ はい	☐ いいえ	プログラム切り替え	☐ はい ☐ いいえ
☐ はい	☐ いいえ	消音(ミュート) (MNB Tのみ)	☐ はい ☐ いいえ
音量調節インジケータ			
☐ オン	☐ オフ	最小 / 最大音量でのビープ音	☐ オン ☐ オフ
☐ オン	☐ オフ	音量変更時のビープ音	☐ オン ☐ オフ
☐ オン	☐ オフ	適正音量でのビープ音	☐ オン ☐ オフ
電池残量インジケータ			
☐ オン	☐ オフ	電池切れ警告	☐ オン ☐ オフ

通知音とLED表示

補聴器の状態毎に、通知音とLED表示が設定されます。各設定は次ページに表記されています。充電器のLED表記については、充電器の取扱説明書を参照ください。

お客様の好みに合わせて、聴覚ケア専門家が通知音とLED表示を設定します。

プログラム	☐ 通知音	☐ LED表示*	使用環境
1	ビープ音1回	○	
2	ビープ音2回	○ ○	
3	ビープ音3回	○ ○ ○	
4	ビープ音4回	○ ○ ○ ○	

○ 緑色、早い点滅

*連続点滅又は、3回点滅

次ページに続く

オン / オフ	通知音	LED 表示	LED 表示について
オン	☐ メロディ音	☐	1回のみ
オフ (MNBTRのみ)	☐ 下降音4回	☐	
音量	通知音	LED 表示	
開始音量	☐ ビープ音2回	☐	
最小 / 最大音量	☐ ビープ音3回	☐	連続点滅又は3回点滅
音量を上げる / 下げる	☐ ビープ音1回	☐	
消音		☐	

緑色、ゆっくり点滅 緑色、早い点滅 オレンジ色、ゆっくり点滅 オレンジ色、早い点滅

アクセサリ	☐ 通知音	☐ LED表示	LED表示について
ワイヤレスプログラム ¹⁾	2種類のトーン音	 	連続点滅又は、3回点滅
ワイヤレスプログラム ²⁾	2種類のトーン音	 	
機内モード	通知音	☐ LED表示	
機内モード オン	短いメロディ音	  	
機内モード オフ	短いメロディ音	  ³⁾	

 緑色、ゆっくり点滅  緑色、早い点滅  オレンジ色、早い点滅

- 1) 補聴器マイク、TVアダプター
2) オーディオクリップリモートマイク
3) 3回繰り返すを選択した場合のみ

次ページに続く

警告	通知音パターン	LED表示	LED表示について
電池残量低下	☐ ビープ音3回	☐       	継続的に繰り返す
電池残量無し	下降音4回		
サービス リペアモード	ビープ音 8回を 4回繰り返す	☐    	継続的に4回繰り返す
充電器にセットした 状態で、LED表示が 動作しない (MNB T Rのみ)		無灯	トラブルシューティングを 参照ください
充電器にセットした 状態で、LED表示 がオレンジ色に点滅 (MNB T Rのみ)		  	継続的に繰り返す。トラブルシ ューティングを参照ください。
充電器にセットした 状態で、LED表示が 緑色に点滅 (MNB T Rのみ)			継続的に繰り返す。トラブルシ ューティングを参照ください。

 緑色、早い点滅  オレンジ色、ゆっくり点滅  オレンジ色、早い点滅

製造販売業者：デマント・ジャパン株式会社
第2種医療機器製造販売業許可番号：14B2X10013
一般的名称：耳かけ型補聴器
販売名：ペロックス耳かけ型
認証番号：228AIBZX00015000

244037JP | 2022.04.19 | v1

244037JP | 2022.04.19 | v1



Philips, Philips Shield Emble は、Koninklijke Philips N.V.の商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。当該製品は、SBOHearing A/S により製造、販売されます。SBO Hearing A/S は当該製品に関する保証人です。